

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2014年9月号

# はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第557号

偽物

教会に赴任して間もない頃だった。牧会四〇年、これまでのキャリアを自負し、無意識のうちに得意になっていたかも知れない。日曜礼拝を終え晴れ晴れした気持ちでいると、九〇歳を過ぎる一人の老信徒からこんな言葉を聞いた。

「先生、わたしたちは必死なのです。上手な話術や、ユーモアなどは期待しません。本当のことを聞かせて欲しいのです。老人の福音です。軽く見ないでください。わたしたちは深刻なのです。」

冷たい水をぶっかけられたような気がした。

「内容のない、どうでもいことをべらべらしゃべっているんじゃない。そんな話を聞いている暇はない。福音の真理が欲しい。わたしはもうすぐ、この世を去らねばならない。本当の話をして欲しい。今更、牧師から自分の体験や人生の教訓などを聞きたいとは思わない。死を前にして発見することばがあるはずだ。それを聞いて世を閉じた。過去の経験や処世術ではない。若いときには気付か

かったこと、死を前にして今発見する老人の知恵だ。それがあるはずだ。もう時間がない、お前はそれを私たちに示す責任があるだろう」。彼はわたしにそう言いたかったのだろう。

そう言われて自分を省みると何もなかった。あるのは偽物だ。この人は私のことを見抜いている。悪夢のようなも

## ことば

関西運営委員  
関西セミナーハウス活動センター所長代行



榎本 栄次

のがわたしを襲った。その日は遅くまで寝られなかった。深夜、涙しながらこんな歌を詠んだ。

福音の注文受けて、わが倉を探せど空しく声のみ響く

私の生家は田舎の小さな雑貨屋であった。「鶏の餌一体ください」と注文を受けても倉は空で在庫がない。間屋ま

ていた。

そのことに気づこうともしないで得意になっていた。信徒の方も慣れていて、もうそんなこと期待もしていない。だましだまされながら適当につきあっている。それが私の教会の実態であった。

失意の中で、逃げ込むように聖書を開き祈るのだった。

一からの出直し

よおくと考えると、何もできなくなると、見えてくるものがある。沈黙の中で聞こえて

くるものがあるらしい。一からの出直しである。

何も無いと言われる北海道の襟裳岬で、遠く、貧しく、弱い群れが連帯して、何かを発見し、新しい世界を開いている。

沖繩の辺野古で、米軍基地工事をさせないために、カヌーで抗議行動をしている漁民、非暴力で立ち向かう人たちが強大な権力に立ち向かう。どこか滑稽であるが、光が見え、新しいことばが聞こえる。

ヨハネの叫ぶ言(ことば)とはわたしの言葉ではないだろう。神からの言であり、わたしたちはそれを聞くのである。わたしの言葉が神であるわけがない。広義で、教義も戒律も教派制もこの世のものであるかぎり、神ではないはずだ。それは必要であっても変えられていくもの。それを神のようにするのは言葉の偶像化であろう。神の側から来ることばに向かつて身を伸ばし、それを待ち、備えたい。

福音の真理を求め

祈るとき御霊の恵み

御蔵に満てり

(日本基督教団世光教会牧師)

関東活動センター

●関東フォーラム「今日的課題」

「連続研修『自死』に遭遇した人への慰めとは」(全5回)を終えて

キリスト教カウンセリングセンター理事長  
日本福音ルーテル教会定年教師 賀来 周一さん  
2014年4月14日(月)〜8月4日(月)(全5回)

早稲田奉仕園スコットホール  
共催 早稲田奉仕園



4月より5回に亘り、自死を巡るさまざまな問題と向き合う牧師中心の連続研修の機会が与えられたことを感謝申し上げます。この度取り上げた自死の問題は、牧会上処理すべき多様な課題を参加者に突きつけた研修であったとの印象をもっている。

なされてきた。それらの研究成果が自死予防の面で貢献してきたことも確かである。しかし同時に、自死の世界を通して、自然死では知り得ない多様な奥深い死の断面を知ることができたこともまた確かである。自死の世界がなければ、人は死の世界の深みに入ることができず、表層的な死の世界しか知らなかったかもしれない。

これらを踏まえつつ、教会領域においては、自死を念慮する者の心理、自死者その人への思い、残された家族近親者および周辺関係者の悲嘆、罪責感、さらには不条理感、ときには怒りが扱いの対象となる。最近やや理解を得てき

たとはいえ、世間一般から向けられる故なき誤解や偏見も考慮の対象となる。

教会は、それらの事象を觀念としてではなく、現実の問題として扱わなければならない。幸いにして、教会は生と死を司る究極のお方がいますことを知っている。そのお方がいますので死と生の両面を

見据えつつ起こった事象を扱うことが許されている。だからこそ究極的な慰めを教会のわざの中に見出し得るのである。その意味からすれば、自死は最近関心を集めているスピリチュアルケアが現実処理の手立てとしてもつとも必要とされる事象とも言えよう。

見据えつつ起こった事象を扱うことが許されている。だからこそ究極的な慰めを教会のわざの中に見出し得るのである。その意味からすれば、自死は最近関心を集めているスピリチュアルケアが現実処理の手立てとしてもつとも必要とされる事象とも言えよう。

●関東フォーラム「宗教対話II」

「牧師と読もう！大人に響く絵本」第1回「木とTree」

巣鴨ときわ教会牧師 増田 琴さん  
2014年6月27日(金)  
日本基督教団早稲田教会

関東活動センターでは今年度の活動方針として、読書会形式で新しくプログラムに参加される方と一緒に場を形成していこうと話し合った。その中から生まれたのが「絵本を読むシリーズ」。「大人に響く絵本」としたのは、絵本というところと、かく子どものもの

ついでに対談が掲載されたいりする。かくいう私も幼稚園の園長をしながら、あるいは3人の子どもたちと一緒に日ごとに読んできた絵本の世界の豊かに育まれてきた。チラシの

ととらえられがちだが、実は大人の心を柔らかく解きほぐすものと思っているから。アラフォー女性誌などをめくってみても、「大人の絵本」に

離をつなぐ絵本のちから」はその第一回が6月27日、早稲田教会を会場に行われ、増田がファシリテーターを担当した。参加者と一緒に車座

になって、「木とTree」をテーマにシェル・シルヴァスタイン作『おおきな木』いせひでこ作『大きな木のような人』、ジャン・ジオノ作『フレデリック・バック画の『木を植えた男』の三冊を読み聞かせ。そのあと、それぞれに感想やテーマについて話し合った。

やはり「牧師と読む」だから、と聖書が語る「木」(創世記とヨハネ黙示録の「いのちの木」) イエスと木、十字架をめぐって、キリスト教神学におけるアニミズム批判に対するサリー・マクフェイグの「神の後ろ姿」として自然的な存在をみるという説の紹介、説教におけるメタファアの働きについてなどなど欲張ってみたけれど、参加された方はどう感じられたらう？

第2回は9月26日(金)午後3〜5時、太田春夫牧師(千代田教会)が担当され、第3回は11月28日(金)同時刻に古賀 博牧師(早稲田教会)が担当される。それぞれの個性も楽しみと思われたいら、是非ご参加ください。

関西セミナーハウス活動センター

●2014年度「お茶のこころと宗教のこころ」第1回  
「お茶のこころと信仰〜歴史から見えてくる光と陰」

日本バプテスト連盟京都洛西教会協力牧師 杉野 榮さん  
2014年7月7日(月)



七月七日(月) 杉野榮牧師による学習会がもたれた。茶道の完成者としての千利休の茶室の構造、また真言宗の宗祖としての空海による高野山の聖地の構造は、キリスト教に由来するところが大きい。キリスト教と仏教の深いつながりをかいま見ることができた。



平安時代の初期、中国からもたらされたお茶が、当時、寺を中心に広がりを見、深められ、喫茶文化として大衆に広がった。一五四九年、フラ

に伝わってきた。日本に3つしかないと言われる魔鏡を見せてくださった。一見普通の鏡に光を当てるとキリストの像が映し出される仕掛けである。迫害の中で信仰の本質、茶道の中に秘められた人間解放のねらいがわかりやすく語られた。

●2014年度「開発教育セミナー」第2回  
「縮小社会〜これからの私たちのくらしをデザインする〜」

縮小社会研究会代表・元京都大学工学部教授 松久 寛さん  
2014年7月12日(土)〜13日(日)



縮小社会研究会代表の松久寛先生を迎え20名の参加者と共に実施した。

講義の後の茶室でのお茶会は、緑に囲まれた美しい落ち着いた環境で心が癒された。茶室の庭の池の木に天然記念物の「森青がえる」がじっと止まっていた。静寂の中の美であった。参加者から今年度は是非もう一度続編を開催してほしいとの要請があった。

現代社会は競争を前提とした大量生産・大量消費に基づいているが、成長路線は、すでに幸福より社会のゆがみの拡大を招いている。『縮小社会』というキーワードをもとに、資源、環境、生産、消費などを見直し、成長至上主義の行き詰まりをどこから改革・突破するのかクイズ、ランキングシュミレーションなど参加型の手法で考えた。

毎年何%という経済成長を続けると、資源の残存可採数は瞬間に短くなる。残存可採年数を持続するためには、例えば100年分の資源があれば、毎年1%ずつ使用量を減らせばよい。発展途上国の



**プログラム案内**

◆**関東活動センター**

■**聖書を読む会「あたらしい聖書の学び」**  
「イエスの世界の女性たち」

講師：山口里子さん(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：4月～2015年2月、第2火曜 18:30～20:00(全10回)

会場：早稲田奉仕園スコットホール2階222号室

参加費：1,200円/学生500円

共催：早稲田奉仕園

■**関東フォーラム宗教対話 I**

「古典で考える 20世紀」  
第3回「F. ニーチェ『悦ばしき知識』」

日時：10月24日(金)18:30～20:30

講師：武田利邦さん(農村伝道神学校講師)

会場：早稲田教会ロビー

参加費：500円

■**関東フォーラム宗教対話 II**

「大人に響く絵本」第2回

講師：太田春夫さん(千代田教会牧師)

日時：9月26日(金)15:00～17:00

会場：早稲田教会ロビー

参加費：500円

◆**関西セミナーハウス 修学院きらら山荘**

■**能を楽しむタベ in 修学院きらら山荘**  
第21回 能『江口』

日時：10月3日(火) 17:30～

解説・出演：林宗一郎さん(観世流能楽師)

会場：関西セミナーハウス

定員：50名

財団本部 <http://www.academy-nippon.com>  
 関東活動センター <http://www.academy-tokyo.com>  
 関西セミナーハウス <http://www.kansai-seminarhouse.com/>  
 関西セミナーハウス活動センター <http://www.academy-kansai.org>

**公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー**  
 代表理事 小久保 正  
**本部事務局**  
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
 TEL 075-711-2147  
 FAX 075-701-5256  
**関東活動センター**  
 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
 日本キリスト教会館6F  
 TEL 03-3207-6198  
 E-mail:info@academy-tokyo.com  
**関西セミナーハウス / 関西セミナーハウス活動センター**  
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
 FAX 075-701-5256  
**関西セミナーハウス**  
 TEL 075-711-2115  
 E-mail:info@academy-kansai.com  
**関西セミナーハウス活動センター**  
 TEL 075-711-2117  
 E-mail:office@academy-kansai.org

能観賞料金：1,800円/大学生1,200円(ご宿泊者1,000円)

■**林宗一郎を囲んでの懇親会**

日時：上記各回能楽鑑賞後  
 会場：関西セミナーハウス 茶室清心庵

費用：1,500円(ご宿泊者1,300円)

■**月釜 清心会**

日時：9月14日(日)、10月12日(日)  
 9:00～15:00受付(1、8月を除く年10回)

於：関西セミナーハウス  
 年会費：5,000円、臨時会費1,000円

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**開発教育セミナー**

2014年度第3回「非暴力トレーニングを体験する～その理念と実践」

講師：大畑 豊さん(非暴力平和隊・日本(NPJ)理事)

会場：関西セミナーハウス

日時：2014年9月13日(土)16:00～14日(日)12:00

参加費：10,500円(1泊2食込)  
 2014年度第4回「沖縄スタディツ

アー～今、考える沖縄

日時：10月11日(土)～13日(月祝)  
 コーディネーター：玉城直美さん(沖縄NGOセンター)

参加費：11万円 定員：14名

■**2014年度修学院フォーラム「社会」**

第1回「科学者の原罪と社会的責任ー福島原発事故の本質」

講師：政池 明さん(京都大学名誉教授、物理学者)

日時：2014年11月1日(土)  
 13:30～17:30

会場：関西セミナーハウス  
 参加費：2,000円/学生500円

■**2014年度修学院フォーラム「社会」**

第2回「日本は暗い時代に向かっているのだろうか？集団的自衛権、特定機密保護法について考える」

講師：佐藤 優さん(文筆家)

日時：2014年11月8日(土)  
 13:30～17:30

会場：関西セミナーハウス  
 参加費：2,000円/学生500円

**賛助会費・寄付金報告**

2014年6月1日～2014年7月31日  
 (順不同・敬称略)

◆**財団本部**

寄付金

日本基督教団早稲田教会 50,000  
 小久保 正 100,000  
 中井 博雅 30,000  
 シュベネマンクラス 100,000

◆**関東活動センター**

賛助会費・後援会費

大坪 正雄 5,000  
 島田 治夫 2,500  
 ランデス ハル 10,000  
 道正 洋三 5,000  
 中井 博雅 10,000  
 武藤 陽一 5,000  
 郡山 千里 5,000  
 服部 千賀子 5,000  
 横野 朝彦 30,000  
 松本 誠 5,000  
 関田 寛雄 5,000

寄付金

中井 博雅 10,000  
 吉見 崇一 2,000  
 加藤 真規子 3,000

◆**神学生交流プログラム寄付金**

中井 博雅 10,000

◆**関西セミナーハウス**

寄付金

宇佐美悦子 3,000  
 中井 博雅 30,000  
 武藤 高司 10,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

手銭 秀夫 5,000  
 殿村 元一 3,000

佐野 千枝子 5,000  
 松本 正俊 5,000  
 福留 順子 5,000  
 相浦 和生 5,000  
 高寺 幸子 5,000  
 藤井 伸枝 5,000  
 伏木 信次 5,000  
 細井 敏子 3,000  
 緒本 博久 10,000  
 有賀 のゆり 5,000  
 春名 康範 10,000  
 谷口 善志郎 5,000  
 光真 5,000  
 木下 寿子 10,000  
 島田 恒 10,000  
 高谷 泰市 5,000  
 中西 和樹 10,000  
 北城 伊三郎 5,000  
 棟方 信彦 10,000  
 比嘉 美智子 5,000  
 桜井 希 5,000

寄付金

佐野 千枝子 2,000  
 松原 千里 3,000  
 西村 久代 3,000  
 金山 顕子 2,200  
 松本 圭子 5,000  
 内藤 弘子 5,000  
 日本基督教団長岡京教会 10,000  
 島田 恒 10,000  
 北野 宗香 3,000  
 土井 健司 2,000  
 比嘉 美智子 5,000  
 日本基督教団希望ヶ丘教会 5,000  
 中井 博雅 10,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。